

## 深くなった「根っこ」



令和元年度の1学期が終わりました。梅雨に入り、蒸し暑い日が続くようになりましたが、盈進っ子は、最後まで元気に過ごすことができました。あっという間の1学期でしたが、子ども達は、着実に成長し、より大きくたくましくなってきたと感じています。

今年度は、学校教育目標を「夢はでっかく 根はふかく」に変更しましたが、子供達にとっても、身近に感じられる言葉で、普段の生活の中でも、しっかり意識できていたと思っています。

子ども達の根っこは、「盈進っ子に身に付けさせる資質・能力」と捉えています。そこで、子ども達の「根っこ」がどのように深く伸びたのか、その姿から振り返ってみたいと思います。

### 〇えがおで、友達と仲良くする子ども【礼儀】

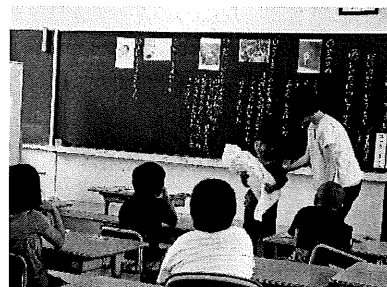
今年度も「あいさつ名人」の取組を行ってきました。これまでに13名の子どもに認定証を渡しましたが、まだ認定されていない子ども達の挨拶も、とてもよくなりました。

登校してくる子ども達は、必ず、自分から元気よく挨拶をします。なかには、にこにこしながら、手を振りながら、頭を下げながら挨拶する子どももいます。子ども達の挨拶のお陰で、毎朝、さわやかな気持ちにさせてもらっています。

夏休み中は、地域でも挨拶を頑張るように話しています。学校でできても、学校外でできなければ、それは本物とはいえません。本物の「あいさつ名人」を目指して、ご家庭でも声かけをお願いします。

### 〇いよくてきに学び、進んで表現する子ども【主体】

小規模校のメリットとして、一人一人に目が良く行き届くこと、また、一人一人の活躍の機会が十分に確保されるということがあります。このようなメリットを生かしながら指導することで、子ども達は、難しい問題、苦手な教科にも、じっくり取り組めるようになりました。みんなの前での発表にも慣れ、自信をもって説明する場面もたくさん見られるなど、確かな成長を感じています。



このような前向きな姿勢が、学習に限らず、何事にも大切になるとと思っています。これからも、目標に向かって、主体的に取り組む子どもを育てていきます。

### 〇しんぼう強く、やりぬく子ども【努力】

教育理念「盈たして 進む」ためには、困難に負けることなく、こつこつと努力することが不可欠です。子ども達には、「努力することの大切さや素晴らしさ」について、各種行事等の中でも、繰り返し伝えてきました。

また、「つづける名人」としての取組も進め、現在2名の子どもを認定しています。4つある「名人」の中で、一番ハードルの高いものですが、たくさんの子ども達が少しずつ名人に近づいていることは確かです。これからも「努力してよかった。」「努力することが好きになった。」と思える子どもを育てていきます。

明日から楽しい夏休み。学校ではできないたくさんのことを経験し、自分の「根っこ」をより深く、丈夫なものにしてほしいと願っています。